



休日は管理を手掛けた現場（遊歩道）を子どもたちと散歩したりします

—責任ある現場管理人のお仕事と、小さなお子さんもしゃる榎本さんのストレス発散方法などがあればこちら  
もぜひ教えてください。

現場の休憩中、作業員さんたちと冗談を言ったりくだらない話をしているだけでも気分が楽になります。また、家では、お酒を飲みながらドラクエをしたり、家族で桃鉄をして楽しく過ごしています。

—最近のマイブームがあれば教えてください。

メダカの繁殖です。もともと生き物の世話をすることが大好きで、現在は犬、イモリ、ヤドカリ、クワガタ等いろいろ飼っています。ちなみに、弊社には同じような趣味の社員が多く、仕事以外の話でも毎日大盛り上がりしています。

—今後の夢や目標を教えてください。

まだまだ知識も経験も不足しているので、様々な工種に携わってみたいです。また、建築施工管理技士の資格も持っているのので、いつかは自分で現場管理をして自宅を建てることも目標です。

—次世代を担う若者たちへメッセージをお願いします。

何事にも、全力で、ポジティブに、素直に取り組んでみてください。仕事もプライベートも充実してくると思います。また、建設業は世の中になくはならない仕事なので、誇りを持って一緒に頑張っていきましょう。

—この「Bratto（ぶらっと）」の印象などがありましたら教えてください。

建設業界の方々のご活躍やインタビュー記事を毎回拝読させていただいております。栃木県建設業協会の皆様のご活躍は私にとってもとても励みになります。



熱中症予防のため、作業員の体調管理も現場管理の大切な仕事です



受賞対象となった国道119号 水無バイパスの舗装工事現場

最後に榎本さんは、「あまりすごい現場監督として取り上げられると困ります（笑）」とした上で、

「今回の受賞は、ICT活用、女性技術者の登用という点で会社が評価されたと考えます。しかし、優良技術者として評価していただいた理由は、（おこがましくて大変申し訳ありませんが）地域住民との関係性だと勝手に解釈しています。正直、知識や経験は周りの諸先輩方のほうがはるかにありますし、私の仕事ぶりは普通です（笑）。ただ、私は地域住民と積極的にコミュニケーションをとることで、難しい街なかでも現場を毎回スムーズに進めることができます。仲良くなりすぎて、地域の方々との思い出は各現場でたくさんあり、自治会の新年会や忘年会に呼ばれたり、現場終わりで夕飯のおかずを作って持たせてくれる地域のお母さんがいたり。実は現場が終わってから何年たっても交流があり、可愛がってもらっています。」と打ち明けてくださいました。

地域の人々と寄り添い、現場での細やかな心遣いを自然体で行える、榎本さん。後に続く後輩にも目を向ける、こんなたおやかな女性が建設業のイメージを変えていくのではないかと、今後もその姿に注目です。

※栃木県優良建設工事技術者表彰について

栃木県では優秀な技術者を表彰することで、技術者の意欲向上や工事技術の継承の促進を図るとともに、減少している若年技術者の確保と育成に貢献し、県内建設業の持続的発展を目的としています。



完成後の現場に興味を持ってくれた地域の子どものふれあい